

講義名	子どもと遊び研究		
科目区分	学部専門科目		
担当教員	三上 聡子		
開講期・曜日・時限	前期 月曜日 2時限		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	12039

主題と概要

現在わが国の「子ども」を取り巻く状況は、あまりにも深刻でありかつその問題の複雑さを露呈しており、遊びも世の中の変化に伴い、流行り廃りがあり、変化していく。しかし、いつの世にあっても、「遊び=生活」という子ども本来の姿は変わることはない。「なんだろう？ おもしろい もっとやってみよう。」という気持ちから生き生きと挑戦し、工夫を重ねて自らを表現していく、子どもたちである。本講義では、実技を多くとりいれ、もっとも子どもらしい姿で人間関係を学ぶ「遊び」を、発育発達を踏まえた理論と実践、双方から学んでいく。

到達目標

子どもにとっての遊びの重要性を理解し、また、自ら工夫し、楽しさを見出し発展させていく中で、相手からも明るい前向きな力を引き出すことを目標とする。

提出課題

毎回、授業後に提出物あり。（課題は授業で行った内容）

評価の基準

・授業中の評価：出席状況・受講態度・協力的な姿勢など...70%、製作物の提出.....30%
 授業実施時間数の1/4以上欠席した者は単位を認定しない。

履修にあたっての注意・助言他

・他の参加者と協調しながら、積極的に、楽しく参加してほしい。
 ・授業中に本授業に関係ないことを行っていた場合は、出席と認めない。
 ・服装については、節度を保ちながらも、多少汚れてもかまわない衣服で。
 ・作品は、提出するとき以外は、各自持ち帰る。

教科書

・使用しない。

プリント資料及び参考文献

・適宜、資料を配布する。

授業計画

- 1 総論 子どもと遊びとは、実践 <折り紙遊び>
- 2 遊びへの関心、季節と遊び、実践 <季節の遊び “こどもの日” 製作 >
- 3 子どもの発育発達と遊び 1、実践 <新聞紙遊び>
- 4 子どもの発育発達と遊び 2、実践 <知育遊び>
- 5 遊具と遊びと安全、実践 <知育おもちゃの製作 >
- 6 音楽と遊び、実践 <音の出るおもちゃ作り >
- 7 伝承遊び、実践 <伝承おもちゃのアレンジ >
- 8 伝承遊び、実践 <言葉遊び >
- 9 ライフサイクルと遊び、実践 <動くおもちゃ 作って遊ぶ >
- 10 遊びと祭り、遊びと治癒力、実践 <動くおもちゃ 作って遊ぶ >
- 11 スポーツと遊び、実践 <動くおもちゃで競争 >
- 12 スポーツと遊び、実践 <飛ばすおもちゃ 作って遊ぶ >
- 13 遊具と遊びと安全、実践 <季節の遊び “七夕” 製作 >
- 14 子どもと絵本、おはなし遊び、実践 <ストーリーのある遊び >
- 15 子どもと遊び まとめ、実践 <創意工夫を楽しむ遊び >

予習・復習

予習・復習は必要としない。

備考

授業初回到作品製作のための材料費500円を各受講生より徴収する。